

「Sapporo IT & BIO Business Matching in KANSAI」の開催について

～札幌市が初めて道外でマッチングイベントを開催します～

札幌には、サッポロバレーに象徴されるようにIT関連企業が集積しており、また最近では、北海道大学北キャンパスの研究施設などでITやバイオ関連産業の産学官共同研究が盛んに行われ、大学発ベンチャーが数多く起業しています。

本市は、これら2つの分野が今後大きく成長すると考えていますが、札幌に立地するIT・バイオ関連産業がさらに活性化するためには、積極的に道外への販路拡大を図る必要があります。

そこで、本市IT関連企業とのネットワークが少なく、また、製薬会社などバイオ関連企業が多く立地している関西地域との地域間連携を強化し、取引先の拡大や共同開発など個別具体的な事業連携を図ることを目的に、北海道経済産業局・(財)北海道科学技術総合振興センター・大阪商工会議所などの協力を得て、このたびマッチングイベントを開催することといたしました。

なお、このイベントに参加する企業には、事前にヒアリングを行い、具体的なマッチング案件や取引希望企業についての意向を確認し、大阪商工会議所など関西の業界団体を通じて希望する業界の企業とのマッチングができるよう準備をしております。

1 主催等

- 主 催 札幌市・北海道経済産業局・(財)北海道科学技術総合振興センター・
北海道バイオ産業クラスターフォーラム・北海道情報産業クラスター
フォーラム
- 共 催 大阪商工会議所
- 後 援 近畿経済産業局・神戸市・(財)大阪市都市型産業振興センター
(財)先端医療振興財団・NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議
札幌商工会議所・(財)さっぽろ産業振興財団

2 日 時 平成16年1月20日(火) 14:00開始

3 場 所 ホテルモントレグラスミアハウス
(大阪市北区曽根崎新地1丁目12-8 (06)6341-7111)

4 定員 100人

5 主な構成

主催者挨拶(14:00~14:05)

基調講演(14:05~14:25)

演題:「新しい“SAPPORO BIZCAFE”が目指すもの～札幌バレーの現状と今後の方向性」 SAPPORO BIZCAFE 代表理事 宮田昌和氏

パネルディスカッション (14:25 ~ 14:50)

演題 : 「札幌における I T ・ バイオ産業の特徴と , 関西との連携可能性 ~ 補完効果と相乗効果の同時達成を目指して」

コーディネーター 土井尚人氏 (「 どさんこばいお 」 事務局長)

パネリスト 宮田昌和氏 (前出)

大野裕深氏 ((独) 産業技術総合研究所 パンチャ-開発戦略研究センター スタートアップアドバイザー)

会場移動・休憩 (14:50 ~ 15:00)

個別企業プレゼンテーション (15:00 ~ 17:00)

I T ・ バイオ別部屋にて同時開催。1社10分 , 質疑応答5分。

交流会 (17:00 ~ 18:00)

- 6 本市からの参加企業 14社 (I T 7社 , バイオ7社。別紙資料参照)
- 7 関西企業の参加 別紙チラシにより , F A X で申し込み。なお , ホームページ (アドレス : <http://www.city.sapporo.jp/keizai/it-bio>) から申し込みが可能。

(問い合わせ先)

経済局 産業開発課 担当 川崎・納 (オウ)

電話 211-2372

Sapporo IT & BIO Business Matching in KANSAI 参加企業(IT側)

	IT01	IT02	IT03	IT04	IT05	IT06	IT07
企業名	アカダマ株式会社	株式会社クラーク総研	札幌オフィスコンピューター株式会社	シャノンコンピュータ株式会社	株式会社 ビーエムエル研究所	株式会社ビー・ユー・ジー	株式会社メディカルイメージラボ
住所	札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1札幌市産業振興センター産業振興棟3階	北海道札幌市中央区南2条西5丁目6番1号ロジック札幌 25 11階	札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2番7号	札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1札幌市産業振興センター3階B-1	札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1札幌市産業振興センター産業振興棟3階A4号	札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番14号	札幌市豊平区月寒東2条 17丁目2-1
資本金	5,000万円	1,000万円	2,000万円	300万円	1,000万円	1億6500万円	2,800万円
代表者	代表取締役 三原孝義	代表取締役社長 前田 正秀	代表取締役 朝倉幹雄	代表取締役 単 宏宇	代表取締役 中橋 望	代表取締役 服部裕之	代表取締役 CEO 平澤之規
設立年月日	平成14年4月1日	平成12年4月1日	昭和54年4月	平成11年4月7日	平成12年7月17日	昭和55年10月20日	平成14年4月16日
役員数	4名	11名	154名	3名	4名	117名	6名
アドレス	http://akadama.jp/	http://www.clarke.co.jp/	http://www.socnet.jp/	http://www.shanson.co.jp/	http://www.pmlab.co.jp/index3/	http://www.bug.co.jp/	http://www.xml.co.jp/
事業内容	・オープンソースソフトウェアを利用したコンピュータシステムの開発設計及び運用管理のコンサルティング ・WebDAVプロトコルを利用した大容量データ転送システムの開発 ・Linux等オープンソースソフトウェアの技術解説書執筆 ・Linux等オープンソースソフトウェアの各種講座運営	経営コンサルタント業務(経営診断・マネジメントサポート(外部重役) 簡易診断システム・人材育成) 集合研修会(セミナー)の運営 ekenの運営 COMS(クラウドアウトプレースメントモデルシステム) eビジネス構築支援	システムインテグレーション ソフトウェア開発 コンサルティング ソフトウェア保守	Linux, Javaを使用したサーバサイドシステムの構築 携帯電話アプリケーション開発 FAXを利用したシステムの開発 Windowsアプリケーション開発	PMLを活用した医薬品情報システム SPINOSA,を始め、広く 医療関係者に利便性の高いシステムを提供し、豊かな医療環境構築をサポート 医療関係のWeb siteの企画、制作、システムや医療に関するコンサルティング	コンピュータシステム・ハードウェア・ソフトウェアの企画 設計 開発 製造 販売、 情報通信機器・ビデオ関連製品 印刷出版関連システム開発など	画像診断高精度化に関するシステムの研究 開発 画像診断システムによる地域医療支援サービス 高度情報技術による遠隔画像診断システムの構築 画像診断に関するコンサルティング
大学等との連携状況	現在受託開発している経済産業省関連の研究開発事業では、北海道大学大学院薬学研究課が主管となっており、システムの設計及び開発に関し、逐次協議継続中にある。	なし	北海道大学理学部 北海道大学工学部 との連携	なし	札幌医科大学	北海道大学工学部をはじめとして同大学他学部とも幅広く連携	北海道大学医学研究科病態情報学講座放射線医学分野 北海道大学工学研究科電子情報工学専攻計算機情報通信工学講座超集積計算システム工学分野
今回プレゼンする内容	オープンソースソフトウェアを利用した、多くの大規模システム開発運用の実績を持つ当社は、インターネットを利用した大容量データの転送を可能とするWebDAVプロトコルに着目し、バイオテクノロジーやゲノム研究にともなうギガバイトレベルの各種解析システムのデータを、インターネットを利用し送受信可能とするネットワークシステムの構築に成功しています。SSLによる暗号化に標準対応する、セキュリティ性に非常に優れたデータ転送システムです。本システムを利用すれば、バイオやゲノム、ナノテクノロジー等の研究開発にともなう大容量データの解析も、ASP方式により効率的に処理可能な環境が構築可能となります。また、医療関連の高精度な各種画像もストレスなく転送可能とし、よりリアルタイムな遠隔操作を可能とするネットワークインフラを提供します。	インターネット研修所「eken(イーケン)」を活用した人材再生システム「COMS(クラウドアウトプレースメント モデル システム)」のご紹介を致します。中途採用、再就職を成功させる為のひとつ工夫。自ら「自分を活かせる場」を創りだせる人材となるために必要なステップ。経営幹部に求められる価値判断基準とは何か。「eken」は採用した人材の試用期間を利用して、その人材が組織人、企業人として必要な「自覚」を持てる様に教育するWeb研修システムです。	消化抑制剤データベース GIS森林火災延焼防止支援システムのご案内	専用GPSの代わりに、GPS機能付きの携帯電話を利用して位置を測定することによって、設置が簡単で、保守しやすい、導入コストも安い運行管理システムを実現しました。 路線バス、観光バス、トラック、タクシー、緊急車両、緊急通報等の様々な分野に応用することができます。 安いコストで高価な大規模システムと同等な効果を得ることができる画期的なシステムです。	CRバンク(治験に関するナビゲーション事業)	ESPT - EthernetSerialParallelTranslator - シリーズ ESPTは、シリアル / パラレルインターフェイスを備えた機器をネットワークに接続するシリアル / パラレル-イーサネット変換器です。サーバ、クライアントの両方の機能を持ち、インターフェースと通信プロトコルの変換を自動的に行います。基本機能を名刺サイズのボードに集約する一方、拡張ボードによる幅広い機能の拡張にも対応しますので、既存の機器や環境を生かして、柔軟なネットワーク環境をコンパクトに実現します。	経済産業省「地域新生コンソーシアム研究開発事業」で研究開発された「高速カラー実体モデル作成による次世代画像診断システムの開発」を実用化するため、MRやCTスキャンを活用した3次元立体モデル作成技術を披露します。
担当者	三原孝義	飯田 克彦	後藤 宏行	単 宏宇	中橋 望	佐藤 敏彦	平澤之規
部署 役職	代表取締役	マネジメントサポート部	経営管理本部 システム営業 セールスマネージャー	代表取締役	代表取締役	取締役 テクニカルマーケティング部長	代表取締役 CEO
電話番号	011-813-8211	011-223-6776	011-807-6350	011-837-3235	011-813-8211	011-807-6666	011-850-2460
E-mail	mihara@akadama.jp	maeda@clarke.co.jp	hiro-goto@socnet.jp	info@shanson.co.jp	info@pmlab.co.jp	sato@bug.co.jp	hirasawa@xml.co.jp
担当者からのPR	当社では、WebDAVプロトコルにとどまらず、処理負荷の高いデータベースシステムもすべてオープンソースソフトウェアにて構築 運用する多くの実績があります。結果、非常にコストパフォーマンスの高いシステム導入、及び安定した運用が可能となります。	手が足りないだけなら「人手」が必要です。仕事を円滑に推進する為のコーディネーターが実現できたら「人材」レベルです。企業にそれまで存在していない新商品、新サービス、新ビジネスを創造できる人が「人材」です。全ての企業が一人でも多く「人材」レベルの人を求めながら達成できていないのはビジネスにおける基本をマスターせずに次のステップを追いかけます。レベルアップは基本から。時間と場所を選ばないインターネット研修所「eken」をご利用ください。	北大大学院理学研究科チームと地元のバイオ企業そしてSOCとの産学共同研究として北方系植物に含まれる有用物質のデータベース化に取り組み、このことが2002年7月6日付北海道新聞に掲載されました。 このプロジェクトは2001年度即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業にも採択されており、札幌オフィスコンピューターはIT企業としてプロジェクトに参加し、データベース構築の技術を提供しています。	弊社はハードウェア制御技術、インターネット技術、モバイル技術等を融合した総合的開発能力を持っています。	平成8年の新GCP施行以降、わが国の治験業務は目に見えて縮小傾向にあります。しかしながらゲノム創薬をはじめとして、治験のニーズは以前にもまして高まる一方です。CRバンクという商品は、製薬企業様、医療機器メーカー様が抱える治験実施までのご苦労を少しでも緩和するアイテムとして、強くお勧めしたい商品でございます。	ハードウェアからソフトウェアまで、あらゆるプラットフォーム、開発言語に精通した総合的な技術力を持つ独立系システムハウス。情報通信機器、ビデオ関連製品の設計 開発、パソコン向けソフトウェア開発、印刷 出版 新聞関連の画像処理とデータベースを組み合わせたシステム開発を主力とする。企業のITインフラを提供するAIP (Application Infrastructure Provider) サービスも展開。	弊社は北海道大学の医学研究科、工学研究科のシーズを活用して設立した北海道大学発ベンチャーです。現在全道の病院向けに遠隔医用画像診断コンサルティングを展開し、その事業は昨年度の日経産業新聞優秀賞を受賞しました。次世代医学の進展のために北海道大学医学研究科、工学研究科、産総研、北海道電力、NTT - M E、リクリートなどとの共同研究により実現したシーズを活用して医療用やその他の分野(芸術、考古学など)での活用を希望する企業や研究者をお待ちしております。
特に注目して頂きたい関西企業 機関 大学	医療関連の組織の方々、お待ちしております。	業種 団体を問いません。	関西の大学、バイオ企業	運送会社、トラック・タクシー業界、私立学校 幼稚園(生徒の送迎にバスを使用している教育機関)	関西を拠点とする内外の製薬企業様、医療機器メーカー様に一社でも多く参加いただきたいと思います。	電機メーカー、組み込み機器、情報家電、ソフトウェア	人工関節など医療用実体モデル作成が必要な企業 美術品、考古学上の重要物などの3次元復元を研究する研究者、企業
プレゼン後当社が希望する成果	より具体的な商談ベースとなるアポイントをお待ち申し上げます。	販路拡大を希望します。(COMSによる人材マッチング希望者、希望企業を募集、eken受講者も同時募集)	各企業、機関、大学とのコラボレーション	具体的な商談の機会	参加企業様と弊社との具体的な商談に発展することを期待いたします。	大手家電メーカー研究所とのパイプ作りができることを期待します。	弊社技術を活用して共同で事業化、あるいは技術提携希望

Sapporo IT & BIO Business Matching in KANSAI 参加企業(BIO 側)

	BIO01	BIO02	BIO03	BIO04	BIO05	BIO06	BIO07
企業名	有限会社A-HITBio	有限会社植物育種研究所	株式会社セテック	株式会社トランスアニメックス	株式会社フロンティア・サイエンス	株式会社ホクドー	株式会社北海道バイオインダストリー
住所	札幌市中央区大通西5丁目8 昭和ビル南館8F HCMインキュベーションセンター	北海道夕張郡栗山町中央2-6	札幌市中央区南1条西6丁目16 大正生命ビル2F	札幌市中央区大通西5丁目8番地 昭和ビル HCMインキュベーションセンター	北海道石狩市新港西1丁目777-13	札幌市西区八軒9条西10丁目4番28号	札幌市豊平区平岸7条14丁目3-43
資本金	300万円	300万円	2,500万円	2,300万円	5,500万円	4,950万円	2,060万円
代表者	代表取締役 池田順子	取締役社長 岡本大作	代表取締役 瀬戸弘	代表取締役 CEO 吉田美樹	代表取締役 北本 正男	代表取締役会長 永井 卯一郎	代表取締役 佐渡宏樹
設立年月日	平成15年2月	平成15年3月	昭和63年8月	平成14年7月26日	昭和56年12月	昭和49年8月5日	平成9年9月
役員数	4名	3名	8名	8名	66名	33名	13名
アドレス	http://www.a-hitbio.com	なし	http://www.setec.jp/	http://www.transanimex.com/	http://www.frontier-science.co.jp/	http://www.hokudo.co.jp/	http://www.bio-do.co.jp/
事業内容	・カルシウム吸収促進効果を持つ健康食品の開発、販売 ・遺伝子組み換え食品の普及活動 ・知的財産権の設定や運用に関するアドバイスおよび実務 ・研究開発事業への技術評価業務 ・研究開発業務へのアドバイスおよび共同開発	健康機能に着目した野菜の品種改良、生産(タマネギ他) ・北海道の気候を生かした草花、ハーブの生産 ・草花新品種の開発 ・北方系植物の健康機能に関する商品開発	・家畜ふん尿利用バイオガスコジェネシステム ・バイオガスの硫化水素除去 ・木質バイオガス化コジェネ ・自然氷冷熱利用システム ・石炭灰利用排煙乾式脱硫 ・空気浮上式ベルトコンベア	・実験動物における遺伝子の染色体マッピングおよび遺伝子型解析の支援 ・ゲノム解析用DNAプローブの作製と供給 ・導入部位を明らかにした遺伝子導入マウス・ラットの作製サービス ・創薬 治療法の開発に貢献できる疾患モデルラットの開発 研究 ・ラットにおける遺伝子発現解析システムの開発	理化学・バイオ関連機器、試薬販売 臨床診断分析装置、キット販売、分析機器保守整備、 バイオ関連の受託 (DNA合成、ペプチド合成、抗体作製、遺伝子クローニング、蛋白発現、DNAシークエンス他) 研究開発事業 特許移転事業	・実験動物、実験動物飼料、理化学機器、試薬類、器具、機械の販売、免疫抗体の製造及び販売、研究試薬 ・(蛋白品、測定キット培養細胞の製造及び販売 ・実験動物受託飼育管理及び受託試験 ・医療廃棄物処理業	・道産バイオマス資源を活用した生活習慣病予防食品及び健康食品の開発 製造 ・7レハリソウ消臭剤の製造 販売
大学等との連携状況	北海道大学、北海道東海大学、イギリスの大学とも共同研究推進中	北海道大学農学部応用生命科学科分子生物学講座にて技術開発 (北海道大学発ベンチャー) 独立行政法人北海道農業研究センターと共同研究	東京農工大学、北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学、北海道酪農学園大学他	北大先端研との共同研究	北海道大学、札幌医科大学、帯広畜産大学、室蘭工業大学、酪農大学、産総研、道立研究機関他	(販売先)北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学、帯広畜産大学、酪農学園大学、北海道医療大学、北海道薬科大学、東京大学、大阪大学、道立衛生研究所、産業技術総合研究所、動物衛生研究所、北海道農業研究センター、理化学研究所など	北海道東海大学工学部西村弘行教授が副社長として商品開発 研究を担当。
今回プレゼンする内容	・「遺伝子組換え」と表示した初めての食品。北大伝統技術の納豆菌による発酵。 ・大学評価、学校法人の評価、独立行政法人など種々の評価。研究や技術に関する評価	北海道発 新規、高付加価値農産物の提案 (タマネギを中心、メロン、ハーブ、宿根草など)および健康機能を活かした加工品について	事業品目である家畜用のバイオガスプラントに関して。	染色体解析部門における受託サービスについて ・疾患モデルラットの作製について	環境ホルモン影響評価キット(簡易検出キット)、 ダイオキシン類測定受託 (バイオアッセイ法、遺伝子レポーターアッセイ法による) 他バイオ関連受託	独自の事業である当社の初代培養センター (Primary Culture Center)事業とT産業との融合	全国の約60%を生産する北海道産のタマネギを、独自の特許技術(BRC製法)によって、健康機能を賦活化した食材(ペースト)や健康食品。行者ニンニクやヤーコンを活用した健康食品等の紹介。
担当者	浅野行蔵	岡本大作	鎌田 恵司	吉田 美樹	伊藤 敬三	平 敏夫	大屋 収
部署・役職	科学技術顧問	取締役社長	営業技術	代表取締役 CEO	技術研究所長	バイオサイエンス事業部長	営業企画部長
電話番号	近日設置予定	01237-2-5680	011-210-7120	011-261-0041	0133-73-9183	011-641-7537	011-812-2512
E-mail	oishii@a-hitbio.com	dais@seagreen.ocn.ne.jp	kamada@setec.jp	yoshida@transanimex.com	zoito@frontier-science.co.jp	toshiota@hokudo.co.jp	ooya@bio-do.com
担当者からのPR	<< 遺伝子組換え納豆 >> ・遺伝子組換え大豆を95%以上使用した、おいしく安全な納豆です。1918年に半澤博士が開発した、納豆菌分離に始まる北海道大学農学部応用菌学教室の伝統を受け継ぎ、衛生的な製造法と純粋培養した元祖納豆菌を使用。じっくり熟成しているため、遊離アミノ酸が豊富です。おいしい瞬間をフリーズバックした、Dr.富ちゃんの納豆のスヌR ₀ をぜひご家庭でお試ください。注文を受けてからの受注生産で、つくりたての新鮮な納豆をお届け。 ・専門家(疑問に答える、信頼の直送販売。人へも環境へも安全のエビデンス(科学的根拠)が、公開されているGMO(遺伝子組換え)大豆採用。未来に賢い選択です。 << 研究評価業務 >> ・技術士(総合技術管理部門)、分子生物学博士、農学博士、放射線取り扱い主任者、消費生活アドバイザーなど経験豊かな顧問団が、技術の評価を受託。また、技術評価法に関するアドバイスをします。	タネは全ての農作物のスタートです。我々はタネこだわり、オリジナルの品種開発を行うことで、高付加価値化を目指します。健康機能につきましては科学的データを提供いたします。また安全安心とあったトレーサビリティにも対応いたします。	大学との連携による製品であるバイオガスプラントを紹介させていただきます。	当社は2003年より染色体解析サービスを開始しました。下記のご要望に応じた解析を行います。 ・遺伝子およびDNAクローンの染色体上での位置の同定 ・ヒト及びマウスの染色体異常の解析 ・トランスジェニック動物の遺伝子挿入部位の同定および遺伝子型(ホモ/ヘテロ)判定 2003年受託実績 大学関係 3件 国公立研究機関 5件 民間企業 10件	弊社は、国内においてDNA合成受託を初期に開始した会社の一つで、現在本事業を(株)シグマジェノシスジャパンに移管した実績があります(シグマジェノシスジャパン社の合成DNA国内シェア約55%)。また産学官との共同研究、共同開発の経験も多くプロジェクトマーケティング、管理法人業務及び研究開発製品の販売、技術(特許)移転業務も行っており、基礎研究、開発研究、実用化、販売まで一貫して実施しております。	世界的に例のないPrimary Culture Center業務を行っています。	大学発バイオベンチャーの道内第1号企業で、北海道のモデルケースとして、道内経済の活性化に貢献していきます。
特に注目して頂きたい関西企業・機関・大学	機能性食品素材の開発 販売等の食品会社の皆様。	食品加工 流通、健康食品企業の皆様	関西圏のプラントメーカー、ゼネコン、大学の農学部関係者	大学あるいは研究機関の実験動物担当者の方。	環境調査会社、バイオ受託企業、環境省 水産省関係の研究機関	細胞の非破壊的測定技術を持っている機関	食品メーカーや外食チェーン、通販業者など
プレゼン後当社が希望する成果	1 遺伝子組換えを始めて表示した納豆の発売。 2 カルシウム吸収促進食材DFA3の開発から含有食品発売まで。	販路開拓(原料供給 生産受託 試験研究の受託)、情報収集、共同研究	弊社のバイオガスプラントを関西圏のプラントメーカー様、ゼネコン様等にアピールしたいと思っております。	当社のサービスを知ってもらって、解析を委託して頂ける企業様とお会いしたいと思います。	販路拡大(環境ホルモン評価キット)実用化研究共同実施先募集(ダイオキシン類バイオアッセイ法)バイオ関連の受託拡大	今回のプレゼンを通して、ビジネスとして新しい取引が開拓されることを願います。	取引先の獲得を願っております。